

市

67th

展

2018

WAKAYAMA CIVIC
ARTS
EXHIBITION

第67回和歌山市美術展覧会

会期

- 1st 7/11^(水)～15^(日)
日本画・工芸・いけ花
ギャラリートーク：7月15日(日) 13:30～15:00
- 2nd 7/18^(水)～22^(日)
書道
ギャラリートーク：7月22日(日) 13:30～15:00
- 3rd 7/25^(水)～29^(日)
洋画
ギャラリートーク：7月29日(日) 13:30～15:00
- 4th 8/1^(水)～5^(日)
写真・彫塑
ギャラリートーク：8月5日(日) 13:30～15:00

会場

和歌山市民会館

(展示室・市民ホール) 9:30～17:00

入場無料

出品目録

主催 和歌山市・公益財団法人 和歌山市文化スポーツ振興財団 (和歌山市民会館)
後援 読売新聞和歌山支局・朝日新聞和歌山総局・産経新聞社・毎日新聞和歌山支局 (順不同)
和歌山市民会館 〒640-8204 和歌山市伝法橋南/丁7番地 ☎(073)432-1212



〔洋画〕

〔全体評〕

67回の市展の中でも、応募点数が多いが、もっと大胆でユニークな作品を期待したい。無鑑査出品の作品にはベテランらしい確立されたものがあり良かった。

○市長賞 生きてく私 廣田敦子 紀の川市

〈評〉 大胆なデフォルメの女性像。現実の色彩にとらわれず、大きなストロークで生き生きと描かれている。

色彩の対比も美しく、合わせ方も上手い。意志の強さを感じさせる眼差しが印象的で、単なる肖像ではなく、作品としての強い魅力がある。

○市議会議員賞 じゃんじゃん祭り 乾 昌子 和歌山市

〈評〉 商店の裏側を細かな密度のあるタッチで描かれている。いわゆる写真的な視点なのだが、なかなか大胆な構図で、作者自身のものの捉え方が生きている。新聞紙が効果的にコラージュされ、画面の密度を高めている。

画面から湧き出る情緒感、この作品の見どころの一つと言える。

○教育委員会賞 サンカクまる四角 寺口雄三 和歌山市

〈評〉 「サンカクまる四角」白い空間がそれぞれのもつ形を均一にし過ぎてしまっているように思う。

○読売賞 calm 中西瑞季 紀の川市

〈評〉 モノトーンでありながら、一見単調に見えるが画面全体的に何層もの塗り重ねが、この絵の特徴だと思う。少し気になる点、左右の描き方に変化がほしいと思う。

今後、もっと内面的な要素を組込めば充実した作品になることを期待しています。

○奨励賞 牛を売る 中西信行 御坊市

○奨励賞 扉を開けると 松本芳子 和歌山市

○奨励賞 里山五月 辻本 渡 “

○奨励賞 過ぎ去りし日 武田十四夫 “

○奨励賞 追憶 前坂良子 かつらぎ町

○奨励賞 農家の一隅 中面弘次 和歌山市

○奨励賞 シンフォニー・浪 前田量子 海南市

○奨励賞 竜門山 土井康雄 紀の川市

○奨励賞 M 北野早紀恵 和歌山市

○奨励賞 鮭の盆 山下真央 “

○入 選 古民家(昔はうるし、今はカフェ) 岡本英嗣 和歌山市

なばなの庭園	蛭川義憲	阪南市
愛犬トリミング	撫養千賀子	和歌山市
人魚	井上浩子	“
収穫	米田真紀	かつらぎ町
北山川筏下り	成子 進	阪南市
綾のおもちゃ箱より	小林洋子	和歌山市
追憶2	山形由廣	“
苔ムスマデ	谷口万桜	印南町
こもれ陽（I）	坂口幸子	和歌山市
遊	森内都志美	“
生命～いのち～	中嶋瑞穂	“
桜の高津子山から	東 悦子	“
ばら	中道明枝	岬町
思い出の電話	竹内さちこ	和歌山市
高浜風景	松坂和子	有田川町
蓮池のある風景	大倉郁子	“
月下美人	原毛千鶴子	“
枯れ花	船山文子	阪南市
夜明け	小野明日香	和歌山市
Mizukiと魔法のランプ	井上育子	岩出市
光の中	白井広子	和歌山市
青年	辻 聡美	岩出市
悠久の時	楠井善彦	和歌山市
紅葉の宴	堂脇ゆかり	紀の川市
ハノイの市場	福永洋子	和歌山市
梅林	宮本美和子	有田市
酒豪のなやみ	西願江里子	泉佐野市
庭	中尾実代	和歌山市
詩の園	松浦峯子	岩出市
清涼の花	片山美穂	和歌山市
魅惑	稲田ちり	みなべ町
食事	加藤実桜	田辺市
無防備	佐古愛里沙	“
木陰	地本はるか	すさみ町
名残り雪	寺本すず花	田辺市
Take your mark	伊勢谷日菜	上富田町
Gladiolus	伊藤あさみ	みなべ町
自動販売機	森 あすか	“
Birne	城本絢未	上富田町
斜陽	釣本雛乃	“
corrosionIV	豊島 情	“
とぼし	濱崎はるか	田辺市
stand by	東 和希	白浜町
哀感	池峯愛美	紀の川市
一瞬	仲間咲帆	“

飼い猫	大高穂香	紀の川市
あるカフェのパンケーキ	鈴木美晴	〃
親愛なるルシアへ	福田紫央梨	岩出市
旅	鳴海千鶴子	和歌山市
作品 A	溝田久子	〃

映の詩 米倉くに子 和歌山市

〈評〉 植物園の光と陰の構成が、美しいリズムとなってサボテンを魅力的に生き生きと描きだしている。色彩もおだやかな中に朱や青紫を直線的にいれアクセントとしてモダンな効果を発揮している。楽しい作品である。

六月の水辺Ⅱ	津田京子	和歌山市
SEIMEI	中東照茂	〃
アニミズム	塚本稔子	〃
エンジン(永垂不朽)	山田康廣	〃
ねこ	山縣加代子	〃
創造の中	辻 環	橋本市
アイビー	岡本二美代	海南市
新潟雪景	杉林雅義	紀の川市
MONSTERA JUNE	藤本知世	海南市
追憶	檜 ふじゑ	和歌山市
初夏の収穫	碓 喜樹	海南市
木漏れ日の散歩道	吉村明夫	和歌山市
愛犬ラック	岩崎孝志	〃
unknown face18-1	南 洋平	〃
池の畔	増田清子	和歌山市
阿吽	居垣潤子	〃
景	松間 弘	〃
池畔秋映	大林儀和	かつらぎ町
いやし	木下光子	和歌山市
朋 2018-A	稲垣紀子	〃
吉野山	塩崎忠造	〃
錦秋の池(信州)	土井敏弘	〃
ダリア	奥岩昱子	〃
誕生	田中淳子	〃
吹き曝しの街で	松尾摩利子	岬町
街	無井由希子	和歌山市
Face(日・月)	池田章子	〃
道標	出口十糸	海南市
静物	松谷弘子	紀の川市
pegasus	堀 憲子	和歌山市
おはなし	志賀清代子	〃
作品	巖崎郁子	〃

アジアの女	三阪篤子	和歌山市
規紗子	中野和夫	〃
大池遊園桜色	中尾久代	海南市
ハーモニー	有本ふみ子	和歌山市
SCENE '18-3	中西周代	紀の川市
奥入瀬の秋	馬場須美子	岩出市
オレはまだ学ぶぞ!	楠瀬伸和	海南市
遠い日	村下良子	和歌山市
guru・guru-2018	岡崎ゆみこ	〃
希望	長谷川江美子	〃
椿	木山 和	海南市
ビタミンCの風景	吉田美紀子	和歌山市
渴望	辻本紀公子	紀の川市
ひととき	立本みさほ	和歌山市
静寂	田代悦子	〃
風音	明渡和子	〃
夜の奇妙な鳥	島田博雄	〃
カイパーベルト天体と	小原千冬子	〃
赤ずきんちゃん物語	岩本 芳	〃
赤いバラ	太田千秋	〃
バラ	佐藤 円	〃
KUSAMURA I	松原友美	〃
紀南風景	棗 多江子	有田市
記憶	土井久幸	和歌山市
序・思考	吉本進一	〃
蓮	中森順一	〃
想	榎本敬子	〃
「標」	山本 実	〃

審査員

〔日本画〕

〔全体評〕

今回出点数が前回より多く大変嬉しい限りである。元々和歌山市展のレベルは高いが今回展は一段とレベルが上がった様に思われます。内容も人物、風景、花など巾広く、すばらしい展覧会と成った。

市長賞 春の宴 北山令子 有田川町

〈評〉 太い木の重み又桜の花がはなやいで、見れば見る程良くなる秀作である。

市議会議長賞 赤い月 楠見泰子 和歌山市

〈評〉 人物のデッサン力があり色調も統一されていて、左から右に流れている白い花の構図がすばらしい。

□無鑑査
○無査 鑑賞

□招待

○教育委員会賞
秋香る 中村由紀江 大阪市
〈評〉 すばらしい作品で心に迫ってくるものがある。もうすこし大きければもっと上に行ける秀作である。

○読売賞
舞妓 赤田友美 湯浅町
〈評〉 この作品は舞妓の着物、バックの色調がすべて計算されて描かれている。デッサン力色調など印象深い作品である。

○奨励賞
群睡蓮 犬星伸子 泉佐野市

○奨励賞
華 松尾紀代子 岬町

○奨励賞
静寂 宇治恵子 和歌山市

○入選
想う 中村 治 岩出市

中山の里 長岡フサ子 和歌山市

牛番 中村正志 〃

ハワイ州オワフ島 椎名 博 〃

春光 木全満知子 橋本市

日和 石垣亜里子 有田市

アンモナイト・大発見！ 濱口憲子 和歌山市

秋桜のうた 原 和子 〃

水龍 前澤ヒトミ 橋本市

般若寺 東田雅子 和歌山市

白糸の滝（岩手） 堂西正善 岩出市

山の道 高松武朗 〃

薔薇 中村宏子 和歌山市

春の訪れ 鈴木茂子 〃

父の防具 磯 孝美 〃

牡丹 田中長治 〃

□無鑑査

○無鑑査賞
北山川の一コマ 安藤貴久子 和歌山市

〈評〉 近景、遠景の描き方、画面全体の色調のバランスがすごく良い。ハッとする程臨場感があり無鑑査賞にふさわしい作品である。

少女 田村真子 和歌山市

涼 中山陽子 〃

溪流 吉田見枝 〃

雪の華 安川佐代子 〃

生命の輝き 谷口澄子 橋本市

紀ノ川 集田信子 和歌山市

百間山溪谷 木下千佳子 海南市

サクセス奏者 加藤叔子 和歌山市

秋桜 中 真喜子 〃

南仏の思い出 広岡裕子 〃

凜として 田中信子 海南市

□招待
七五三詣 小野千寿子 日高川町
水芭蕉 久保礼子 岬町
ショーウィンドー 近江友紀子 橋本市

ばら 宮田有子 和歌山市

静かな風景 崎山誓子 〃

桜 吉田晃一郎 〃

ナイアガラの滝 藤田和子 〃

牡丹 高幣佳代 札幌市

見つめる 吉本和代 海南市

静寂 亀岡俊和 かつらぎ町

風光る 角野千佳子 和歌山市

椿 岩本京子 〃

ぼたん 宇治田純子 〃

春の日 濱田委子 〃

□審査員
紫陽花 新谷慶子 和歌山市

訪春 南口みどり 橋本市

牡丹 増田淑子 和歌山市

森の聖域 石橋玄門 〃

矢車草 宮寄朋子 〃

京舞妓 清水達三 〃

〔書道〕

〔全体評〕

厳正な審査によって選ばれた入賞作品は漢字仮名共に日頃の研鑽の積み重ねの作品が多く心強く感じました。レベルの高い作品が多く、今年は漢字仮名共サイズの異なった作品もあり喜ばしい限りです。来年も多数の出品を期待します。

○市長賞
佳氣葱籠 田中清苑 和歌山市

〈評〉 確かな造形のもと、大筆を見事に駆使している。強く大きく変化して行く運筆から軽妙さが見られ、又、渴筆からは力感、速度感が伝わり気宇壮大で大胆な世界が広がっている素晴らしい作品です。

○市議会議長賞
あふちさく 久堀美香代 和歌山市

〈評〉 墨色が美しい。紙に模様と紙質を生かした実力を感じる仮名作品。線質も深味があり筆力の確かさが目を引きました。作品を組立てる妙を心得た作品です。

○教育委員会賞
病後登快哉亭 奥村香麗 和歌山市

〈評〉 大胆な筆致でリズムよく運筆しています。文字の大小や線の太細など見事に

表現し、変化に富んだ作品です。余白も有効に生かしてすばらしい出来栄となりました。

○読売賞 百人一首 岡本千扇 和歌山市

〈評〉 古典に立脚した作品に仕上げ、構成も二段で、文字も上段・下段と大きさにも変化をつけて書かれていて、とても魅力的な作品です。

集墨法も素晴らしく、とても強い線条で太細の妙が心地よく響き渡る秀作。

○奨励賞 このまもる 綾野由美子 和歌山市

○奨励賞 許潤の詩 久保花桜 〃

○奨励賞 王淮の詩 吉澤義則 〃

○奨励賞 萬里 原田彩華 〃

○奨励賞 かきわけて 友田嶺花 阪南市

○奨励賞 この宿に 木下和美 和歌山市

○奨励賞 ゆふなぎに 知名和子 〃

○奨励賞 宿先公房曉起偶成 前田桃琴 〃

○入選 春ごとに 井本舟香 和歌山市

蔡松年詩 平松千尚 〃

紅樓院應制 児玉真扇 岩出市

桐君山 大向井莉園 和歌山市

浪華城春望 島 彩苑 〃

風雨宿江上 西岡清周 〃

西句橋 北島瑞香 〃

窓ちかき 吉田きみ子 〃

古今和歌集より 狩野峰水 岩出市

李邕詩 中村緑秀 和歌山市

高青邱詩 川崎義典 岩出市

直哉史魚 井畑貴美子 和歌山市

年ふれば 福島章次 〃

白楽天詩 中前花秀 岩出市

小夜ふけて 中林祥江 紀の川市

題張氏隱居 保田清心 和歌山市

あめのした 星野聖沙 〃

汴梁除夜 田口優果 〃

讀疎詠之安陽對竹ニ詩懷家山次韻見意 浜松東霞 〃

うぐひすの 赤真明舟 〃

むしのねに 山口る美子 〃

王昌齡詩 宮本桂秀 〃

早渡伊川見舊鄰作 志茂珠香 〃

過陝 半田陽輝 〃

蘇東坡詩（二首） 津田敏舟 〃

みねおろす 的場順子 〃

花の香に 古川敏美 〃

朱彝尊詩	山田柊光	紀の川市
王文治詩	加藤博翠	和歌山市
むすひおきし	奥山愛子	〃
恋ひ恋ひて	山本陽煌	〃
春暁	清長光惺	日高川町
玉の緒	上田大芳	和歌山市
謝朓詩	山本翠幸	かつらぎ町
李猷甫詩	辻 華舟	紀の川市
劉迎詩	岡野早恵	〃
浅茅生の…	吉岡美萌	和歌山市
おく山に	山本政子	岩出市
舟すゑし	瀧本典子	和歌山市
あらたまの	蒔田泰子	〃
しもこほる	藤原てる子	〃
わが宿は	岩岡里恵	〃
李洞詩	岩田蒼雪	岩出市
呉蘭雪の詩	山口珠鴉	和歌山市
母の詩	小池秀和	〃
三吉野	山崎怜光	〃
わがやどの	小高翠芳	有田市
李白詩	上平桂士	和歌山市

□無鑑査

○無査 鑑賞

紀伊の国万葉の歌 南 雅仙 紀の川市

〈評〉 古筆の味を生かしつつ、半切縦を三分割しながら切れ味のある線と墨色の巧みな変化でよくまとめました。特に中心部は行間の変化をつくりつつ、立体感のある落ち着いた雰囲気を出しています。

王安石詩	山下芳翠	和歌山市
道のべに	池田理恵子	〃
徐燻の詩	松尾明苑	海南市
なつごろも	浅井香園	和歌山市
娘子たち	仲 玲舟	〃
夏山に	西本幸子	〃
なにとなく	村山弥舟	由良町
「買花」白居易詩	中井澄苑	紀の川市
祖詠の詩	下村真歌	海南市
春情	長原葵香	和歌山市
さざなみや	成見真代	〃
尋胡隱君	東 久華	〃
よもすがら	佐藤和子	〃
鹿柴	赤坂松琴	〃
かくばかり	上野朱煌	〃
白楽天詩	岩本栄光	紀の川市
山行	宮本龍勝	和歌山市

夜もすがら	西川明壽	岩出市
春歌	高木久琴	和歌山市
天の海	野田佳舟	日高町
王昌齡の詩	吉村郁夫	和歌山市
王錫詩	松中翔園	〃
臨高台送黎拾遺	林 香舞	海南市
うつくしく	松本慶子	和歌山市
夏の夜は	濱口朱草	〃
李白詩	宮本穂光	岩出市
万葉歌	白石翠心	和歌山市
子夜春風	岩橋瑞花	〃
李白詩	笠松康華	岩出市
青葉	高橋佳子	和歌山市
寒食夜	鶴田秀翠	〃
無窮	小澤清華	和歌山市
游芸	山本清雲	〃
しづかさや	百溪陽舟	〃
さびしからずや	加納敬舟	〃
海原の	中原朱穂	西宮市
沈倬の詩	中浦研玉	海南市
みかのはら	松倉映舟	和歌山市
趙翼詩	高田佳鳳	〃
琴歌野興閑	瀬藤翠琴	岩出市
六言「静不 _レ 偏動靡 _レ 違」	渡辺李光	和歌山市
この見ゆる	柳川朱萌	海南市
さやさやに	佐藤祥琴	和歌山市
Hero	上田大愚	〃
澄神以凝虚	上野花園	〃
禅語	谷口和光	紀の川市
芽	吉村祥雲	和歌山市
王樞詩	藤本千峰	〃
南樓望	水崎花扇	〃
伊州歌	西村霖風	〃
あまつかぜ	中西桃園	紀の川市
六月や	久保田碎花	和歌山市
うぐひすの	藤籟江舟	〃
孫過庭詩	遠藤美園	〃
盧旦	三嶋昭苑	紀の川市
いとせめて	吉本蒼琴	和歌山市
飲河満腹	静 一華	〃
百人一首(奥山に…)	岸畑由喜子	〃
万葉集	中家光苑	〃
樓臺	川瀬玲舟	〃
春の夜の	柳 藤苑	海南市
月影の	土肥恵子	和歌山市

□招 待

不惜身命	出口抱琴	和歌山市
月影	田端弓子	〃
五言句(山窓桂樹熏)	佐原ちづよ	〃
遣唐船の平安を祈る歌	松村博峰	枚方市
臨王鐸	田村 剛	和歌山市
寿山福海	山口熊野	〃
ちりはてゝ	石上敬草	紀の川市
天如水	細島静峰	和歌山市
姫	小林明香	〃
七言二句	小島健堂	〃
一清一濁	小澤清湖	〃
矢車の花	名手朱舟	〃
ほととぎす	戸村舟里	〃

□審査員

〔写真〕

〔全体評〕

今回は出品数がアップしたのが何より喜ばしい。全体に見てやゝ低調であり、次回に期待いたします。上位入賞作品は夫れ夫れ個性的で、モチーフを的確に捉え内容と表現力で見応えのある作品でした。たゞ類型的な作品が多かったのが残念です。今回は新鮮でパンチの効いた斬新な作品を望みます。無鑑査作品は更に研鑽を積んだ力作を期待いたします。

○市長賞 光のワルツ 山本ひとみ 和歌山市

〈評〉 噴水のある池の水面が揺らぎ、そこにネオンでしょうか、夜の光が映り込み、デザイン的な面白味があります。

○市議会議長賞 春日和 近藤義之 御坊市

〈評〉 老人が日溜りで一休み。なごやかな雰囲気です。特に犬の表情も良く作者の優れた感性がうかがえる秀作です。

○教育委員会賞 雨の日 宮崎美智子 和歌山市

〈評〉 パパと田植えをしている姉妹。姉は少し戸惑い気味の表情で、妹は遊び心がいっぱいです。姉妹の性格の違いが少し出ているかな。

○読売賞 空たかく 小西弘子 和歌山市

〈評〉 晴天の空に、鯉のぼりと少女を大胆な画面構成で捉えて成功。特に感性の高い作品です。

○奨励賞 真夜中の水族館 藤吉修忠 和歌山市

○奨励賞	祭日	谷口哲也	和歌山市
○奨励賞	三面一体	辻 雅司	〃
○奨励賞	冬の駅	小川隆司	〃
○奨励賞	暖	榎本隆志	〃
○奨励賞	お願い	岩鶴敏代	紀の川市
○奨励賞	吹雪く日	常田 茂	紀美野町
○奨励賞	おもしろい仲間たち	庵尾茂子	和歌山市
○入 選	護摩壇山厳冬	児玉 崇	紀の川市
	静寂の湖畔	山崎紀久一	〃
	路地裏	武西邦夫	和歌山市
	九度山の僧	武西邦夫	〃
	休日	山口敏幸	有田市
	お山の大将	平松正大	有田川町
	城に春の訪れ	山岡孝三	岸和田市
	桜舞うころ	井上泰治	海南市
	願いよ届け	松岡博美	紀の川市
	緊急取材	林 和宏	和歌山市
	海の貴婦人	林 和宏	〃
	夏の忘れもの	関口裕恵	〃
	龍雲	田邊勉弘	〃
	秋麗の半島	田邊勉弘	〃
	青年の叫び	徳永康人	橋本市
	家族	武西さよ	和歌山市
	炎	波木基子	〃
	視線	波木敬子	〃
	ライダー	谷口幸永	かつらぎ町
	流しびな	中井澄明	和歌山市
	春舞台	上西國春	〃
	波が描く物	辻 雅司	〃
	発射	小畑光弘	〃
	滝の妖精	小畑光弘	〃
	木蔭	北川明典	〃
	ある日の街	北川明典	〃
	名残	大澤健二	〃
	煌めき	布居承子	〃
	都会の寸景	小川隆司	〃
	微風	中道克巳	海南市
	The four seasons 2017 青と緑	橋爪靖雄	〃
	赤服・黒服の女	野上 博	和歌山市
	祈祷	堀内秀樹	かつらぎ町
	雨上がりに	柿原由希	和歌山市
	道程	福永 徹	〃
	追憶	松尾昌夫	〃
	錦秋	笹本教導	有田川町
	は〜い、こっち見て	内藤昭智	橋本市

□無鑑査
○無査 鑑賞

鬼は内、もう豆がないぞ〜 庵尾茂子 和歌山市
かつら 妹背佐江子 紀の川市

flowers 西嶋誠造 和歌山市

〈評〉 エッグの殻を割った部分に色々な花が差し込まれています。もしかすると殻を割って花が出て来たのかも！想像が膨らみますねえ。

シャッター・チャンス 吉村高宣 和歌山市

eye 池田義成 〃

JUMP 瀧本佳史 〃

村祭り 中道ちあき 海南市

暴れる獅子 馬場利明 岩出市

春(花筏、春の鴨、蝶) 関本京子 和歌山市

モダニズム 龍田経子 〃

静寂 児玉正雄 岩出市

やっさいほっさい祭り 北野欣信 かつらぎ町

□招 待

暑い日 石橋洋一 和歌山市

パレン 角田公利 〃

帰り道 橋本 清 有田市

仕事帰り 松岡博之 紀の川市

鯉 木本カズエ 和歌山市

モニュメント 大道正和 〃

ベビーフェース 小野誠之 〃

幻想の世界 楠見 勝 〃

銀河鉄道 999 山下廣子 〃

晩秋 山下良富 〃

湖愁 坂口 享 〃

氷瀑 山東義明 〃

神宿る 小池秀和 〃

路地 松澤 孜 〃

□審査員

ホワイトカラー 山中健次 かつらぎ町

霧景 松原勝次 和歌山市

幻像 坂田 稔 〃

〔彫塑〕

〔全体評〕

出品点数4点と昨年より1点減でしたが、4点とも入選レベルに達していると評価しました。それぞれの作品に作者の個性が表れ、また、くり返し制作されている事も解り、好感が持てるものでした。

共通して言える事は、制作意図を明確にし、美につなげようとする態度が、さらに充実した作品を生み出す力となる事でしょう。

○読売賞 サンカクまる四角 寺口雄三 和歌山市
〈評〉 現代風なオブジェで、一見雑然と見える中にも緻密に構成された作品となっている。

年々作品の質も向上しているが、さらに大きな作品を期待したい。

○入選 ESCAPEⅢ 湯川佳応理 印南町
O 海野愛理 上富田町
しずく 岩崎孝志 和歌山市

□審査員 四角の領域 岡本勝利 広川町
kanon 橋本和明 湯浅町
港便り 2018 松谷靖夫 紀の川市

〔工芸〕

〔全体評〕

工芸部門に於いては例年の如く応募作品数が少なく寂しい思いですが作品の水準は一定しており落選作品が無いのは喜ばしい。唯、内容的には陶器が多く他の染織、漆等の出品が少ないのが残念で今後に期待します。

○市長賞 ふるさと 和田泰子 和歌山市
〈評〉 せわしい日々のなかで、ふと、やすらぎを思う、ふるさと。心やさしい作品です。今後に期待します。

○市議会議員賞 青銅釉花器 古野康男 阪南市
〈評〉 バランスのとれた形態。安心感を与える青銅釉に上下の褐色のグラデーションが調和して深みのある落ち着いた作品です。

○教育委員会賞 波濤 宮内昇 貝塚市
〈評〉 形状から、月夜の波濤をイメージされた作品でしょうか。浪を三種類にかけ分け、怒濤の響が静けさの中に冴え渡る空間を感じさせる秀作です。

○読売賞 七・五・三 木芯桐壁布紙張り 鈴木節子 和歌山市
〈評〉 何ともやさしい雰囲気です。着物がとても素敵です。幼い時代を想い込ませる作品です。

○奨励賞 生きる 柳岡未来 和歌山市

○奨励賞 私待つわ！ 吉川直樹 〃

○入選 マット釉花器 牧野敦子 和歌山市

飴釉鼓形花器 田中秀直 〃

春の古都 岩坪博子 岸和田市

鉄釉掛分け 西岡伊津子 阪南市

熊野古道 稲垣廣子 和歌山市

和歌山城の秋 稲垣廣子 〃

天目釉鉢 大塚由美子 岬町

□無鑑査

○無鑑査 眞夏の夜の夢 後藤佳世子 和歌山市

〈評〉 題名である眞夏の夜をブルーの彩漆をたたきの技法をもちいて天の川を表わし、全面を漆黒塗りし、作者が連想した晴れの日を孔雀をテーマとして尾羽根に花と蝶を配し彩漆と青貝を使用した落ついたしぶい作品である。

黒泥菱柄円壺 南寿典 岸和田市

青丸花器 藪田彰三 和歌山市

緑釉鉢 久我口文雄 〃

鉄釉鉢 安里満 阪南市

メモリー 岩本洋子 和歌山市

鉄釉鉢 並松雄二 岩出市

染付板皿「群影」 高木伸裕 阪南市

蒔絵文書箱「繁る」 嶋本弘子 和歌山市

きらめく 栗山國子 〃

志野釉花器 川嶋立身 岬町

□招待 創作刺繍 冬の天野 奥野萬知子 和歌山市

緑紋彩鉢 岡本昌昭 〃

輪のシンフォニー 松本卓三 熊取町

那智黒立鼓花入 寒川栖豊 白浜町

備前窯変花器 中村実 和歌山市

掛分変形花瓶 稲田績 〃

想作刺繍「悠久・命」 坂本留美 河内長野市

熊野 田中やす子 和歌山市

黒釉壺 嶋吉淑進 阪南市

春間近 橋爪靖雄 海南市

流し掛花器 嶋本博文 和歌山市

角花入 喜多忠男 有田市

想 田中利恵子 〃

□審査員 公園 高野澄子 和歌山市

黒天に舞ふ 塩崎 梓 和歌山市
乾漆花器 山田健二 海南市

谷口れい子 和歌山市
坂口明子 岩出市
島本豊寿 和歌山市
南 紀子 〃
西村萌雲 〃
宮脇尚子 和歌山市
小谷弘子 〃
福永八千代 〃

〔いけ花〕

□審査員

〔全体評〕

近年いけばな部門の応募者が減少し大変残念である。昔は、いけばなは日常生活と大いに密着した身近なものであった。

今日、建築様式や生活空間も大きく様変わりし花を飾る場所さえもなくなってきている。

いけばなに限らず日本古来の伝統文化のよさを今一度見直し次の時代に継承してゆくべきではないかと思う。いけばなの美しさやその奥にある精神的なものを頑張って残してゆこうじゃありませんか。ご協力下さい。

○市長賞 本田光代 岩出市

〈評〉 黒いネットを、複雑に折重ね、アンスの赤色を対比したのが、とっても良いです。アレカヤシカの線を出す事により、動きが出て良いのですが、少し下の方が重い感じですが、まとまった良い作品です。

○読売賞 東岡百合子 和歌山市

〈評〉 サンスベリア・黒法師・ピンクッション、いずれも迫力が有り個性的な花材でありながら不思議とどれもが邪魔することなくまとまっている。更に金の三椀が全体を調和させていて安定感のある豪快な作品である。

○奨励賞 藤井節子 岩出市

○入選 中尾博昭 和歌山市

梶本幸嗣 〃

島崎貴子 〃

□無鑑査

○無鑑査賞 金野美智子 和歌山市

〈評〉 曲のある黒と白いつるを組み合わせ、そこにソテツがうねりを出しながらボリュームを持たせている。全体の構成も上手くまとまった作品である。

富村佳代 和歌山市

藤本香代 〃

湯川 章 〃

川尾久美 〃

□招待 岡崎玉峰 和歌山市

一般応募・入賞・入選数

	応募点数	応募者数	入賞数	奨励賞数	入選点数
洋画	82	70	4	10	51
日本画	23	23	4	3	16
書道	60	60	4	8	48
写真	55	46	4	8	40
彫塑	4	4	1	0	3
工芸	13	12	4	2	7
いけ花	6	6	2	1	3
計	243	221	23	32	168

展示点数

	一般	無鑑査	招待	審査員	計
洋画	65	15	41	5	126
日本画	23	12	14	6	55
書道	60	32	38	6	136
写真	52	10	14	3	79
彫塑	4	0	0	3	7
工芸	13	11	13	3	40
いけ花	6	5	6	3	20
計	223	85	126	29	463

